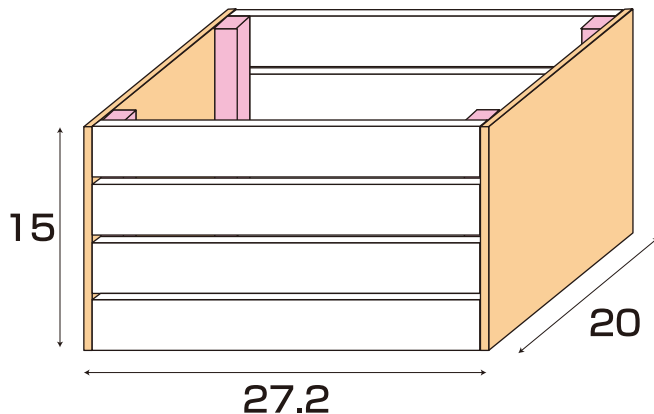
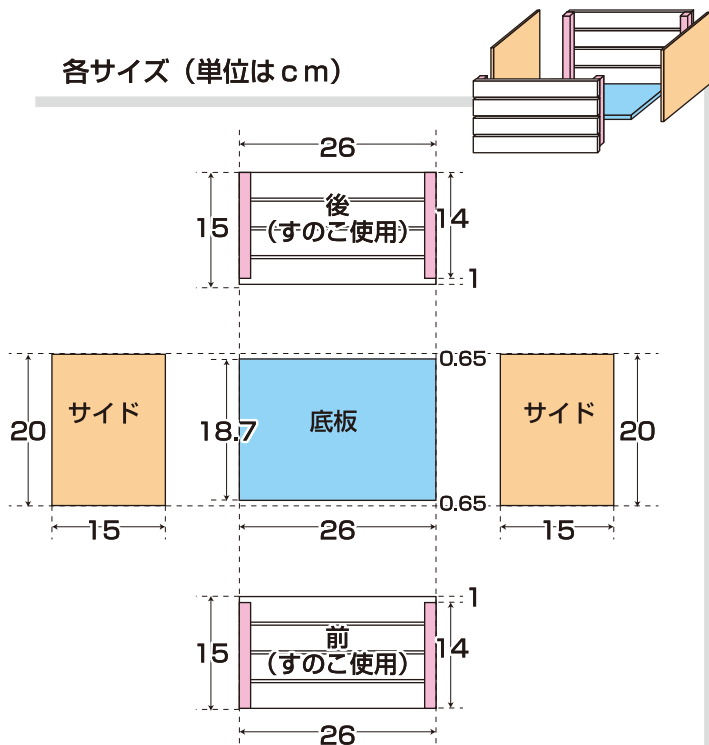


ほぼ100均の木材でも作れる 軽くてちょっぴりオシャレな木箱

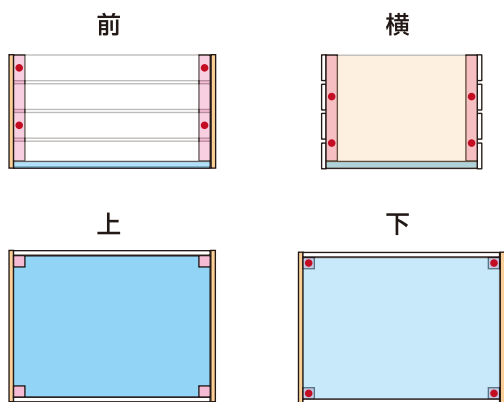
presented by
 ぴらめこのDIY



各サイズ (単位はcm)



組立イメージ・ビスの場所など

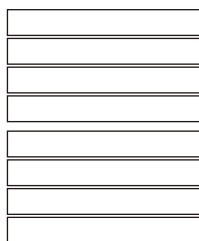


- ※すのこ板はバランスを見ながら並べる
- ※角材は底板の厚さ分をあけて取り付けておく
仮釘を使うとやりやすい
- ※ビスはお互いに干渉しないように打ち込む
- ※接合はボンド併用(仮釘使用)、サイドの板はビス、底板は
ビスと小鋸を打ち付けて補強しても

材料

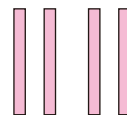
●すのこ板 100均すのこ
(400×250mm)をバラした板をカット

26×3.4×0.65 cm **8枚**



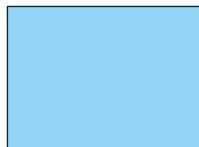
●角材 (セリア 木製角材 3P
約450×15×15mmをカット)

14×1.5×1.5 cm **4本**



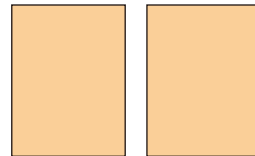
●板材 (桐・ダイソー
450×200×9mmをカット)

18.7×26×0.9 cm **1枚**



●板材 (910×150×6mmの
ファルカタ集成材をカット)

20×15×0.6 cm **2枚**



材料選びのポイント

底板のサイズは実寸(27.3 cm)から両サイドで使う板厚分を差し引いた大きさになる(底板は横から見た時に見えないように内側に入る)
また、板はできるだけ厚さがあった方が接合面積が大きいので底が抜けにくくできると思う(底板の厚さ 9mm はけっこうギリギリ)

●接合に使ったビス・釘など

- ・仮釘 ・小鋸 (20×16) ・さら木ネジ (2.7×20) 底板
- ・スリムネジ (3.5×16) サイド

桐(ファルカタ集成材)を使っているので、接合は主に木工用ボンドでなんとか
なるけど、組立時は仮釘を使用した方がラク

ビスは使う板厚にあわせてサイズを選びましょう(理想は板厚の2倍の長さ)

●ざっくりかかる材料代

ボンド・ビス道具などはのぞいて 500～600円くらい
(100均の板材は歪んでいるので、できればファルカタ集成材がおすすめ)